

チームで取り組むリンコントロール

長崎腎病院

○山下万紀子 渡部さゆり 吉野秀章 川口利江 川口唯 川内リカ
畑本明子 江藤りか 船越哲

【目的】

透析患者のリン・カルシウム管理は生命予後および QOL に対する重要なポイントである。当院では従来、高リン血症の食事指導に管理栄養士のみで対応していたが、今回多職種によるチーム介入を開始したため報告する。

【方法】

医師・管理栄養士・薬剤師・看護師・臨床工学技士の合計 10 人で構成されるチームを立ち上げ、スタッフが 1 人につき約 40 名の担当患者を固定し、月 1 回のチームミーティングを続けながら無理なくリンを適正値に保つ指導を定期的に行った。

【結果】

対象は外来血液透析患者 282 名。リンの管理目標達成率は開始前の 54.9%から開始 6 ヶ月後に 69.1%へ有意に上昇し ($P < 0.05$)、リンの平均値は $5.5 \pm 1.6 \text{mg/dl}$ から $5.2 \pm 1.4 \text{mg/dl}$ へ低下する傾向となった。

【考察】

高リン血症を是正し管理目標を達成するには、定時検査後の要所の食事指導も重要であるが、チームによる患者の現状把握と幅広い層への情報提供がより成果をあげる可能性がある。